

(特別講義)

東洋医学

オーガナイザー

M-04-17-L

教育研究開発センター 教授 村田 顕也

I 授業の目的

患者のための最良の治療方針を決定できるようになるため、東洋医学の概念、東洋医学的診断方法、治療方法について理解する。

II 到達目標

1. 和漢薬（漢方薬）の特徴や使用の現状について概説できる。
2. 東洋医学の歴史を概説できる。
3. 東洋医学における症候を説明できる。
4. 東洋医学における診察法を説明できる。
5. 東洋医学における治療法を説明できる。
6. 傷寒論を概説できる。
7. 生薬を概説できる。
8. 東洋医学による婦人科疾患の治療を説明できる。
9. 東洋医学による呼吸器疾患の治療を説明できる。
10. 鍼灸医学を概説できる。

III 教育内容および講義日程表

1 限目 8時50分～10時00分 2 限目 10時10分～11時20分 3 限目 11時30分～12時40分

No	月日	曜日	時限	項目	担当
1	R5. 11. 21	(火)	1	総論①東西医学の比較と統合医療、東洋医学の歴史	山本
2	R5. 11. 21	(火)	2	総論②東洋医学の診断法 1	來村
3	R5. 11. 21	(火)	3	総論③東洋医学の診断法 2	來村
4	R5. 11. 28	(火)	1	総論④傷寒論について	山田
5	R5. 11. 28	(火)	2	総論⑤東洋医学の治療法（総論）	高木
6	R5. 11. 28	(火)	3	各論①鍼灸医学	木村
7	R5. 12. 12	(火)	1	各論②呼吸器疾患と漢方一頻用処方解説と症例を交えて一	辰田
8	R5. 12. 12	(火)	2	未定	未定

IV 教育方法

講義：スライド、プリント、ビデオ教材などを使用する。

V 評価の方法

試験（レポート）90%、出席態度10%で評価する。

1 基盤的 資質		2 医師 としての 基本的 資質		3 コミュ ニケー ション 能力		4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科 学的)探究				7 社会 貢献																
卒業時 コンピ テン ス	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	EBIの利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	副作用・薬害	ブレゼンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動	
	レベルD	レベルE	レベルE	レベルD	レベルD	レベルE	レベルD	レベルF	レベルA	レベルF	レベルE	レベルE	レベルE	レベルD	レベルE	レベルD	レベルD	レベルE	レベルE	レベルF	レベルF	レベルE	レベルA	レベルE	レベルF	レベルA	レベルF	レベルE	レベルE	レベルF	レベルE	レベルE	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF	レベルF
	東洋医学																																													